

- ◆企画名 特集本展示 第1回「ひとり暮らし編」
日 程 2018年5月9日(水)～5月23日(水)
場 所 関西大学総合図書館2階 開架閲覧室
参加者数 15名(ピア・サポータ14名、研修生1名)
目 的

- ・本学の学生に図書館へ足を運んでもらうこと。
- ・新学期が始まり、ひとり暮らしを始める学生に対し、生活に必要な情報を提供する。
- ・この展示を通じて、授業以外の日々の生活においても、図書館が情報収集の拠点であることを認識してもらう。

内 容

新学期が始まり、忙しくなる学生の手助けをするため、「ひとり暮らし」をテーマとして特集本展示を行った。中でも、料理についての本を多数紹介し、本学の学生の健康的な生活の支援を目的とした。

また、アンケートを設置し、あわせて前回の特集本で紹介した本の書誌事項と所在記号を掲載したコアラ通信を配布した。

効 果

- ・展示期間中に26冊中13冊が借りられた。レシピ本はそれ以外の本に対し貸出率が約2倍であったため、内容によって貸出回数に偏りが見受けられた。
- ・今回対象としていたのは、ひとり暮らしをしている学生であったが、ひとり暮らしをしていない学生の利用も多く、図書館が授業以外の日々の生活においても便利な場所であると周知できたといえる。

改 善 点

- ・今回の展示期間は2週間と短めであったため、貸出回数が少なかった。次回からは1か月など少し期間を長くした方が良いと考える。
- ・展示用書架の最下段の本の貸出数が0冊であったため、排架に工夫を凝らすべきだった。最下段に本を置かずに済むように事前に展示用書架の大きさを確認し、展示する本の冊数を調整する必要がある。

感 想

上記のとおり、料理のレシピ本以外の貸出率が低かったため、テーマを「料理」に絞るべきだったと思う。それにより、テーマが「ひとり暮らし」の場合よりも対象となりうる学生を増やすことができるからである。しかしながら、主に対象としていた層以外の利用も多かったため、そこは素直に喜びたい。

今回レシピ本以外の本の貸出数が少なかったが、その理由として表紙がシンプルなものが多かったことが挙げられる。そのため対応策として、本のタイトルを記したカードを作成し、該当する本の横に設置したが、内容を伝わりやすくするためにPOPを作成した方が利用者の目に留まりやすかったのではないかと思う。

また、企画担当班の意見として、仕事量に偏りがあるのではというものが挙げられた。そのため、次回からはより均等に仕事を割り振るようにしたい。